

研究課題名 『リンチ症候群の拾い上げ及び遺伝子診断に関する多施設共同研究』

本研究は、埼玉県がんセンターを主任施設とする多施設共同研究であり、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の承認を得て、理事長の許可のもとおこなわれます。

リンチ症候群(遺伝性非ポリポーシス大腸癌)は、家系内に大腸癌や子宮内膜癌をはじめとする様々な癌を発症する特徴を持つ遺伝性腫瘍症候群です。遺伝性腫瘍症候群のなかでは頻度が高いと考えられますが、本邦での研究報告は少なく、我が国独自の臨床データの集積とその解析が不可欠な状態です。

本研究では、リンチ症候群が疑われる症例を多施設で集め、文書で同意を得られた方に対して、遺伝子診断を実施します。リンチ症候群の遺伝子解析情報を収集し、本邦におけるリンチ症候群の特徴を明らかにします。さらに、個人の特定につながらないような処理をして、公的なデータベースへの登録、もしくは制限付きで公開・共有し、診療や研究における活用を促します。本研究の登録期間は令和3年3月まで、研究解析期間は令和5年12月までの予定です。

本研究の成果は、遺伝学的検査によるリンチ症候群の確定診断を促進することにより、病態の解明に寄与するとともに、患者様およびそのご家系、さらには診療にあたる現場の医療関係者に、実情に合った情報を提供することを可能とし、より適切な治療法や予防・対応策を構ずる一助となるものと期待されます。

研究責任者

公益財団法人ちば県民保健予防財団

総合健診センター 顧問 稲田 麻里 (主任研究者)

総合健診センター学術顧問診療部遺伝子診療科科部長/調査研究センター学術顧問

野村 文夫 (分担研究者)